

基本政策 1 心豊かな生活を送ることができる

【基本政策の方向性】

市民と共に培ってきた文化芸術の土壌を活かし、それぞれが役割を果たしながら、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に触れられる機会の創出により、市民一人ひとりが、心豊かな生活が実感できる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「文化芸術による豊かさの実感」

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に親しむことができるように、活動環境や鑑賞機会を充実させるとともに、わかりやすい情報発信に努め、文化芸術による豊かさを実感できることを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
「市民文化の創造」に対する満足度（市民意識調査）	51.7%（H30）⇒	56.2%（R7）

基本施策

1－1 市民の文化芸術の振興

安全で快適な施設の提供や活動に対する様々な支援により、市民が文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを進め、市民の文化芸術を振興します。

【KPI】	現状値	目標値
文化芸術活動環境に関する満足度（web アンケート）	— ⇒	50.0%（R7）

【主な取組】 安全で快適な施設提供

誰もが安全で安心して利用できる快適な活動環境を提供するため、ユニバーサルデザインにも配慮し、公共施設マネジメントによる個別施設計画と連動した計画的な施設の修繕・改修を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
公共施設マネジメントによる個別施設計画の策定・運用	— ⇒	策定・運用（R7）

1-2 キラリ☆ふじみを中心とした文化芸術の振興

文化芸術の発信拠点であるキラリ☆ふじみを中心として、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に接することができ、参加することのできる環境づくりに取り組むことで文化芸術を振興します。

【KPI】	現状値	目標値
文化芸術事業に関する満足度（web アンケート）	— ⇒	50.0%（R7）

【主な取組】鑑賞機会の充実

日頃から文化芸術に親しむ方々だけでなく、仕事や子育てなどで文化芸術に触れる機会の少ない方々にも、キラリ☆ふじみを中心とした身近な公共施設で文化芸術に親しめる機会を創出します。

【KSF】	現状値	目標値
鑑賞会等の参加者数	32,449 人（R1） ⇒	現状より拡大（R7）

1-3 文化芸術によるまちづくり

あらゆる地域資源等の活用により、日常生活の中で身近な文化芸術に親しむことができる機会を充実し、文化芸術によるまちづくりを推進します。

【KPI】	現状値	目標値
「豊かな生活が送れている」と回答した割合（web アンケート）	— ⇒	50.0%（R7）

【主な取組】日常生活の中での文化芸術の推進

身近な場所を活用したコンサートの実施や、まちなかを活用したアート空間の創出など、日常生活の中での文化芸術を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
文化芸術アクションプラン事業数	56 事業（R1） ⇒	維持（R7）

関連する SDGs ゴール



誰もが文化芸術を、観て、触れて、体験できる環境の提供に取り組めます。

関連ターゲット（4-7、4-a）



日常生活の中で文化芸術に親しめる機会を創出し、地域の文化振興に取り組めます。

関連ターゲット（8-9）

関連計画等

富士見市文化芸術振興基本計画（平成 26 年度～令和 5 年度）

関連部署

総務部 秘書広報課

自治振興部 地域文化振興課、各交流センター、各コミュニティセンター、各公民館